

学年	ページ	行	変更事項	変更内容	備考
1年	4 ～7		変更	<p>「この教科書について」では、教科書のサンプルを削除し、記号等の説明のみを次の順序で示した。 (以下、項目名のみ記したが、点字教科書には説明も記している)</p> <p>主な内容 トライ1 (Q) 例1 問1 (注意) (目標) (計算機) (ふりかえり) (探究ノート)</p> <p>そのほかの内容 *がついているものは、自分の力で取り組む内容です。 (ふりかえり) …の学習の前に* (やってみよう) (調べよう) など*</p> <p>1-1の確認問題 問題A 問題B* (発展)</p> <p>インターネットへのリンクマーク (リンク 補充) (リンク 資料) (リンク イメージ) (リンク 考察) は、この教科書に関連した補充問題、参考資料、理解を助けるアニメーション、活動を効果的に行うためのツールなどをが利用できる目印です。必要に応じて、次の URL を入力してください。 <a href="https://www.chart.co.jp/dl/su/jhs/01/index.html">https://www.chart.co.jp/dl/su/jhs/01/index.html</a></p> <p>いっしょに学ぶ生徒たち 数学的な見方・考え方をはたらかせてほしい場面では、4人の生徒たち(ひびきさん、まなとさん、みかさん、かなさん)と先生が登場して対話します。</p>	<p>2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。</p>

			<p>考えるヒントになる意見を中心に、誤りやすい点、疑問に思いがちなことなど、実際に考えてほしいことをとりあげています。</p> <p>学びをガイドするキャラクター 「カンガル」「スーガル」はいつも何かを考えている、カンガルーに似た動物。以前に学んだことを思い出すきっかけをくれたり、忘れやすい、誤りやすいことを注意してくれたり、学びを深めるきっかけを提示してくれたりします。</p>	
10 ～11	変更	<p>「ノートづくり方」については、ノートをつくる時のポイントを先に列挙したあと、ノートの例を示した。なお、「そのほかのポイント」はノートの例1と2の間に記した。また、ノートの例は点字で書けるように次のように変更した。</p> <p>ノートの例1</p> <hr/> <p>⠠⠠⠠月⠠⠠⠠日（金） 教科書 ⠠⠠⠠ページ</p> <p>トライ1 いろいろな文字式で表そう。 マグネットを正方形の形に並べます。 1辺に並んだマグネットがx個であるとき、マグネットの総数をxの式で表しましょう。 ただし、1辺に並んだマグネットの個数は2個以上とします。</p> <p>（自分の考え） 端が重ならないように同じ数ずつ分けるとマグネットの総数は <math>4(x-1)</math>個 (重ならないように4つに分けてみた。)</p> <p>（ひびきさんの考え） 端を除くように同じ数ずつ分けてから、端の分をたすとマグネットの総数は <math>\{4(x-2)+4\}</math> 個 (ひびきさんは、端が数えにくいので端を別にして考えた。)</p> <p>（かんなさんの考え） 端が重なるように同じ数ずつ分けてから、端の分</p>	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。	

		<p>をひくとマグネットの総数は  <math>(4x - 4)</math>個  (かなさんは、1辺が <math>x</math> 個なので、<math>x</math> 個ずつ分けた。)</p> <p>同じところを2回数えてもよい！（あとでひく）</p> <p>(考えたこと)  3人のマグネットの総数の表し方は異なるけど、同じものを表しているから等しくなると思う。  だから、  <math>4(x - 1)</math>  <math>= \{4(x - 2) + 4\}</math>  <math>= 4x - 4</math>  になると思う。</p> <p>(感想)  1つのことを表すのに、様々な考え方があることに驚いた。  次の時間は、私が考えたことが正しいのかどうかを確かめてみたい。</p> <hr/> <p>ノートの例2</p> <hr/> $(2x + 3) - (3x - 2)$ $= 2x + 3 - 3x - 2$ $= 2x - 3x + 3 - 2$ $= -x + 1$ <p>(ひく式のかっこをはずすときに符号を間違えた。この前も間違えたから注意する。)</p> <p>訂正</p> $(2x + 3) - (3x - 2)$ $= 2x + 3 - 3x + 2$ $= 2x - 3x + 3 + 2$ $= -x + 5$ <hr/>	
13	変更	<p>レポートの例について、点字で書けるように次のように変更した。</p> <p>レポートの例</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)  3 編集の具体的内容(3)  ①による。</p>

正四角錐の展開図の種類

☐☐☐☐月☐☐☐☐日

1年 ☐☐☐☐組 ○○○○

1. テーマを選んだ理由

正四角錐の展開図は何種類ぐらいあるか、疑問に思いました。

2. 予想

面の数が5つなので、5種類あると予想しました。

3. 調べ方

ブロックを使って実際に展開図をつくって調べました。

4. 苦労したこと

回転させたり裏返したりすると同じ形になるものがあるので、それを数えるかどうかで迷いました。  
→数えないことにしました。

5. 展開図の種類

(教科書にあったもの)

ア. 正方形のすべての辺に二等辺三角形が1個ずつくっついた形

イ. 正方形の1つの辺に二等辺三角形の底辺がくっつき、二等辺三角形のほかの2辺にはそれぞれ二等辺三角形がくっつき、そのうちの1つに、さらに二等辺三角形がくっついた形

(自分で見つけたもの)

正方形にくっつく二等辺三角形の数で分けて調べました。

1個 — 1種類

2個 — 4種類

3個 — 1種類

6. 結果

8種類

7. 感想

正四角錐以外の立体についても、何種類の展開図

			がつくれるのかを調べてみたいと思いました	
14	図	変更	数直線の目盛りの数値は、0、0.1、0.2、0.5、1のみとした。分数は小数の下に示した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
15	写真	削除	写真を削除し、写真の中の数字だけを示した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
16 17	図	変更	図を削除し、図中の気温を表で表した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
19	写真	削除	橋や山の写真を削除し、例1や問4の文章中に山の名称を入れた。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
22	2	変更	1目盛りが0.5の数直線については、目盛りを触りやすい大きさとするため、横書きとした。以下、同様とする。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
22	6	変更 削除	「書き入れましょう」は、「しるしましょう。」と修正した。印をつけられるように、触りやすい目盛りの大きさとした。 また、ひびきやかんなのセリフに対応する数直線については、必要の応じて、その前の数直線図を使うことができるため、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
23	12	変更	例1の2種類の数直線は、1本にまとめた。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
24	図	削除	まとめを補足する図については、まとめの中で言葉による説明がなされているため、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
29	11	変更	正の数、負の数の加法に関する説明の図を削除し、カンガルとスーガルの説明とした。 カンガル「 $(+4) + (-1) = + (4-1)$ では、絶対値が大きいのは、 $+4$ なので、二つの数の和の符号は、 $+$ となるね。絶対値の大きい方から小さい方を引くとよいので、 $(4-1)$ となるね。」 スーガル「 $(-5) + (+3) = - (5-3)$ では、絶対値が大きいのは、 $-5$ なので、二つの数の和の符号は、 $-$ となるね。絶対値の大きい方から小さい方を引くとよいので、 $(5-3)$ となるね。」	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
34	31	削除	正の項や負の項を図示した図は、本文に言葉による説明があるため、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3)

				①による。
38～ 40	14	変更	p40のQにおいて、問1で完成させた表を用いて考えることとなる。そのため、□の部分の数値を入れるだけでなく、表全体を完成させる必要があると考え、問題文を「表を作成しましょう。」と変更した。p39の問2も同様とする。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
40	4	削除	p40のQでは、表を削除し、問1・問2の表を参照させることとした。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
44	5～ 7	変更	緑の囲みの中の符号の式について、もとの式のみを示し、キャラクターのセリフを次のようにした。 カンガル「2つの負の数の積の符号は+になるから、 $(-)\times(-)$ は $(+)$ になるね。だから、 $(-)$ を2つずつ組にして考えると…」	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
45	6	変更 追加	点字の表記の仕方について説明を以下のように挿入した。また、墨字での表記の仕方について、図を挿入した。正方形と立方体の図は削除し、カンガルとスーガルの会話として挿入した。  $5^2$ と表したときの2や、 $7^3$ と表したときの3は、掛け合わせた同じ数の個数を表している。この個数を表す「④⑤」の次に書いた数を「指数」という。 点字では、特に2乗と3乗を表すために、それぞれ「き」「く」という記号が定められており、5の2乗は5き、7の3乗は、7くと簡単に表すことができる。 墨字では、 $5\times 5$ のことを次の図31のように書き、かけあわす数の右かたに小さく指数をことになっている。 (ノート) $5\times 5=5\ddot{::}$ 指数は2 $7\times 7\times 7=7\ddot{::}$ 指数は3 スーガル「 $1\text{m}\ddot{::}$ は、1辺が1mの正方形の面積で、 $1\text{m}\ddot{::}$ は、1辺が1mの立方体の体積だったね。」 カンガル「 $\text{m}\ddot{::}$ は平方メートル、 $\text{m}\ddot{::}$ は立法メートルと読んだね。」	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
46	3	追加	囲みの式に、次のように説明を追加した。 1. かけ算 $(+2)\times(+3)=+6$ 2. わり算 $(+6)\div(+3)=+2$	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

			<p>1. のかけ算は、2. のわり算に、2. のわり算は</p> <p>1. のかけ算に書き換えることができる。</p>	
52	図	削除	<p>整数と自然数の集まりを示す図を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>減法は、<math>2 - 3 = -1</math>のように、自然数の範囲で計算することができない場合がある。・・・（以下、変更なし）</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
53	図	削除	<p>数の集まりを示す図を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>同じように、除法も、<math>3 \div (-1) = -3</math>のように、自然数の範囲で計算することができない場合がある。さらに、<math>7 \div 3 = \frac{7}{3}</math>のように、整数の範囲で計算することができない場合もある。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
53	図	変更	<p>数の集まりを示す図に、次の文章を追加した。</p> <p>全ての数の集合の中に整数の集合がふくまれ、整数の集合の中に自然数がふくまれている。(図 32)</p> <p>自然数の集合には、1 2 3 …… がふくまれている。</p> <p>整数の集合には、自然数の他に 0 -1 -2 -3 …… がふくまれている。</p> <p>すべての数の集合には、整数の集合の他に -2.4</p> <p><math>-\frac{2}{3}</math> <math>\frac{8}{5}</math> 3.14 などがふくまれている。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
55	14	変更	<p>素因数分解の書き方の紹介について、墨字の場合と、点字で書く場合の説明に変更した。</p> <p>(メモ)</p> <p>墨字では、図 33 のア. のような方法で計算するが、点字では、イ. のようにして計算する。</p> <p>イ.</p> <p>84 2</p> <p>42 2</p> <p>21 3</p> <p>7</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
56	4～15	変更	<p>斜線を付ける代わりに、シールを貼る方法に変更し、残った数には○を付けず、「残った数が素数」という説明に変更した。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①④による。</p>
56	写真	削除	<p>エラトステネスの写真を削除した。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p>

				①による。
57	図	変更	2種類の棒グラフが示されているが、上のグラフだけを掲載した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
60	図	削除	3において、図の中の乗法は問題文中にも掲載されているため、図を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
61	図	変更	3において、トランプは図示せず、言葉による表に変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
62	表	削除	点字では、斜めの書体で区別することはないので、先生のセリフを削除した。また、表においても、斜めの書体の小文字の列を削除した。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
62	囲み	削除	墨字の字体が似ている文字や記号についての書き方の注意については、点字で書く場合にはあてはまらないので削除した。また、カラフトフクロウの写真も削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①③による。
65	2	変更	マグネットを囲んで考えているが、マグネットを囲んだ図を示すと複雑になるため、囲まずに外側に区切りを示す線を入れた。そのため、みかのセリフの「囲んだ」を「わけた」に変更した。以下、同様とした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
66	7	削除	Noteの内容は、墨字の文字に関する内容なので削除した。	2 編集の具体的方針(1) による。
66	21	変更	問3のカンガルのセリフを次のように変更した。 カンガル「数量の関係がわかりにくいときは、図9のようなものをイメージして考えてみよう。」	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
67	写真	削除	札幌大通公園の写真を削除し、問4の文章中に公園名を追加した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
67	写真	削除	りんごとみかんの写真を削除し、図のみ点図で表した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
67	14	削除	Noteの内容は、墨字の文字に関する内容なので削除した。	2 編集の具体的方針(1) による。
69	図	変更	例2の立方体の図を削除し、次のカンガルのセリフに変更した。 カンガル「1辺が $a$ cm の立方体の体積が $a^3$ cm <sup>3</sup> だね。」	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
71	写真	削除	砺波チューリップフェアの写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3)



				①による。
71	図	変更	数直線図については、基準となる線から先に触れられるように、上下を入れ替えた。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。 この変更については、主に算数の教科書で行っている。
73	図	削除	問5については、問題文に必要な情報が書かれているため、図を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
74	写真	削除	谷川岳の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
74	14	変更	囲みの中を、次の文章で表した。 $x-12$ の $x$ に 25 を代入すると、式の値は 13 となる。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
74	21	削除	例1の囲みについては、例1の式変形と同じ内容であるため削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
75	17	削除	例3の囲みについては、例3の式変形と同じ内容であるため削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
76	6	変更	「稲妻が見えてから少し遅れて雷鳴が聞こえることがあったのではないのでしょうか。」という文章は、経験していない者もいるため、「・・・聞こえることもあります。」と変更した。 また、イメージを持たせるために、稲妻を点図で表した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①③による。
78	14	削除	囲みについては、本文と同じ内容であるため削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
82	6 16	追加	筆算に関しては、補足説明を入れ、カンガルとスーガルに発言させた。 カンガル「次のように二つの式を縦に並べて、計算することもあるよ。」 スーガル「二つの式を縦に並べて計算する場合には、次の左の筆算を右の筆算のように考えることができるよ。」 例5の筆算については、上下に並んでいる式を左右に配置した。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ⑥による。
83	17	追加	囲みの中の分数の約分について、p83、p84につ	2 編集の具体的方針(1)

84			<p>いては計算の途中経過が分かるように加筆した。</p> <p>P83</p> $12x \div 4$ $= \frac{12x}{4}$ <p>(分母の4と分子の12をそれぞれ約分する。)</p> $= \frac{3x}{1} = 3x$ <p>P84</p> $(6x - 12) \div 3$ $= \frac{6x - 12}{3}$ <p>(分母の3と分子の6x、12をそれぞれ約分する。)</p> $= \frac{2x - 4}{1}$ $= 2x - 4$	<p>3編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
84	8	削除	<p>例3の囲みについては、例3の式変形と同じ内容であるため削除した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)</p> <p>3編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
87	写真	削除	<p>伊賀流忍者博物館の写真を削除した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)</p> <p>3編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
88	絵	削除	<p>TRY1の絵を削除した、</p>	<p>2編集の具体的方針(1)</p> <p>3編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
89	囲み	変更	<p>p89、p90の囲みの中の図式は、次のように文章での説明に変更した。</p> <p>p89</p> <p>等式 <math>x + 2y = 1000</math> の 左辺は <math>x + 2y</math>、右辺は 1000、</p> <p>両辺は <math>x + 2y \quad 1000</math></p> <p>p90</p> <p>不等式 <math>x + 2y &lt; 1000</math> の 左辺は <math>x + 2y</math>、右辺は 1000、</p> <p>両辺は <math>x + 2y \quad 10000</math></p>	<p>2編集の具体的方針(1)</p> <p>3編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
90	図	削除	<p>例2については、文章だけで理解できると判断し、図を削除した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)</p> <p>3編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
94	写真	削除	<p>新薬師寺薬師如来坐像の写真を削除した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)</p> <p>3編集の具体的内容(3)</p>

				①による。
97	1	変更	本文中の、本文中のカンガルのイラストを「カンガル」、立方体を「キューブ」、球を「ボール」と言葉で表した。また、図中のカンガルは△、キューブは□、ボールは○として点図にした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
98	21	変更	囲みの中を、次のように文章で表した。 (メモ) 方程式 4 $x-4=200$ を 解くと、 $x=51$ になる。 方程式の解は 51 である。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
102	15	削除	Note の内容は、墨字の文字に関する内容なので削除した。	2 編集の具体的方針(1) による。
104	4	変更	Q の内容を、次のように変更した。 Q ひびきさんは、方程式 $x-3=7$ を次のように解きました。 どのように考えて、解いたのでしょうか。 (ひびきの解答) $x-3=7$ $x=7+3$ $x=10$ まなと「左辺の-3が右辺で+3になったように見えるね。なぜだろう？」 みか「数を右辺にまとめようとして変形したのはわかるけど…」 かな「 $x-3=7$ の両辺に 3 をたすと $x-3+3=7+3$ だけど、 $-3+3=0$ になるから書かなかったんじゃない？」 先生「同じような解き方がどのような方程式でも考えられそうですね。」	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
104	17	変更	囲みの中の式を、次のように本文の中に入れた。 次の式は、方程式 $x-3=7$ と $x+5=1$ を解く時の計算である。 $x-3=7 \dots\dots\dots ①$ $x-3+3=7+3$ $x=7+3 \dots\dots\dots ②$  $x+5=1 \dots\dots\dots ③$ $x+5-5=1-5$	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

			$x = 1 - 5 \dots \dots \dots \textcircled{4}$ <p>①の左辺にあった-3は、②では符号を変えて右辺に移り、+3になったと見ることができる。 同様に、③の左辺の+5も、④では符号を変えて右辺に移り、-5になったと見ることができる。</p>	
105	1	変更	<p>移項の例を（メモ）とし、次のように表した。 （メモ） <math>x - 3 = 7</math> （-3を移項） <math>x = 7 + 3</math> <math>x + 5 = 1</math> （+5を移項） <math>x = 1 - 5</math></p>	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
105	9	削除	例1の囲みの中は、例1の本文と同じ内容のため、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
105	18	削除	例2の囲みの中は、例2の本文と同じ内容のため、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
106	2	削除	例3の囲みの中は、例3の本文と同じ内容のため、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
106	17	変更	囲みの中の式において、1行目から2行目にかけての式変形を①としているが、変形した結果の2行目の式を①とした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
110	絵	削除	Qの絵を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
111	4	削除	囲みの中の図式は、カンガルのセリフの内容を同じため、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
111	8	削除	まとめの横の囲みについて、まとめで書かれている内容と同じため、削除した、	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
113	5	変更	<p>Qの内容を次のように変更し、レシートを次のように示した。 次のようなレシートがあります。（はかすれて読めない部分）</p> <hr/>	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

			<p>スイーツショップ</p> <p>ケーキ <math>\text{⬢⬢⬢⬢⬢}</math> 円 (単 <math>\text{⬢⬢⬢⬢⬢}</math> 円 <math>\times 3</math>)</p> <p>ジュース 300 円 (単 150 円 <math>\times 2</math>)</p> <p>合計 1050 円</p> <hr/> <p>このレシートから、ケーキを 3 個と 150 円のジュースを 2 個買うと、代金の合計は 1050 円であることがわかります。次の□にあてはまる言葉を考え、代金の関係を表してみましょう。</p> <p>(ケーキの代金) + □ = □</p>	
113	13	変更	解答例を左ページ、問題を解く手順を右ページに配置し、手順と解答例を見比べられるようにした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
114	図	変更	テープ図を線分図に変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
114	絵	削除	問 2 の絵を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
115	図 絵	変更 削除	例 2 の絵を削除し、テープ図を線分図に変更した。 また、問 3 の絵を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
116 ~117		変更	図を削除し、先生と生徒のセリフを次のように変更した。 先生 「まず、問題文に書いてある情報を整理しましょう。」 みか 「兄が家を出たとき、妹は 5 分間先に歩いた分だけ、先にいます。妹は 5 分間で $(60 \times 5)$ m 進むよ。」 まなと 「それから兄が追いつくまでは、2 人とも同じ時間だけ移動して、少しずつ差が小さくなっていくね。兄が出発してから 1 分後に、妹は $(5 + 1)$ 分間で $(60 \times 6)$ m 進み、兄は 1 分間で $(90 \times 1)$ m 進むよ。」 かな 「家を出てから兄が追いつく場所まで、2 人が進んだ道のりは等しいよね。これで方程式が作れそう。」 カンガル 「兄が出発してから $x$ 分後に妹に追い	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。


			つくとしたときに、次の表4の空欄にあてはまる式を考えよう。」	
117	10	変更	<p>解答例の右側の記述を、次のように解答例の中に示した。</p> <p>(解答例)</p> <p>兄が家を出発してから <math>x</math> 分後に妹に追いつくとすると</p> <p>(2人が進んだ道のりが等しくなれば追いつくことになるので、その関係を等式で表す。)</p> $60(5+x)=90x$ <p>・・・</p>	2編集の具体的方針(1)による。
123	3	変更	<p>バス停の図を縦書きに変更した。</p> <p>京都駅前 →烏丸七条 →烏丸六条 … (以下、同様)</p>	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
123	図	変更	<p>京都の地図は道と駅、バス停のみとした。</p> <p>通りの名前は略して表示し、凡例を付けた。凡例と地図は見やすさを考慮して、見開きにした。</p>	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
126	絵	削除	<p>Qの絵を削除した。</p>	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
126	15	変更	<p>表を完成させる問題について、「表を完成させましょう。」を「表の□にあてはまする数を答えましょう。」に変更した。</p> <p>以下、同様。</p>	2編集の具体的方針(3) 3編集の具体的内容(3) ③による。
127	8	変更	<p>不等式による変域の表し方の表を削除し、次のように変更した。また、変域を表す図を点図で表し、文章と図を見開きで見られるように配置した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><math>x &gt; 0</math> <math>x</math>が0より大きい(0をふくまない)。(図2-1)</li> <li><math>x \geq 0</math> <math>x</math>が0以上(<math>x &gt; 0</math>または<math>x = 0</math>) (図2-2)</li> <li><math>x &lt; 15</math> <math>x</math>が15より小さい(15をふくまない)。 <math>x</math>が15未満 (図2-3)</li> <li><math>0 \leq x \leq 15</math> <math>x</math>が0以上15以下 (図2-4)</li> </ol>	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
127	20 ~22	追加	<p>次のように漢字の説明を追加した。</p> <p>「函数(投函するの函、数字の数)」</p> <p>「函(投函するの函)」</p> <p>「関数(関わるの関、数字の数)」</p>	2編集の具体的方針(3)による。

128	7 ~10	変更	<p>かんな、ひびき、まなと、みかのセリフの後の表を削除し、次のように文章で表した。</p> <p>かんな「<math>x</math>の値が2倍、3倍、…になると、<math>y</math>の値も2倍、3倍…になっているね。例えば、<math>x = 1</math>、<math>y = 3</math>のときを基準に考える。<math>x</math>を2倍した<math>x = 2</math>のとき<math>y = 6</math>で、<math>x = 1</math>のときの<math>y</math>の値3の2倍になっているよ。また、<math>x = 1</math>を3倍した<math>x = 3</math>のとき<math>y = 9</math>で<math>x = 1</math>のときの<math>y</math>の値3の3倍になっているね。」(表7)</p> <p>ひびき「他のところでも、<math>x</math>の値が2倍になると、<math>y</math>の値は2倍になっているよ。例えば、<math>x = 2</math>、<math>y = 6</math>を基準に考える。<math>x = 2</math>を2倍した<math>x = 4</math>のとき<math>y = 12</math>で、<math>x = 2</math>のときの<math>y</math>の値6の2倍になっているね。」(表7)</p> <p>まなと「<math>x</math>の値は1ずつ増えていて、<math>y</math>の値は3ずつ増えているよ。表7を横に見るとわかるよ。」(表7)</p> <p>みか「<math>y</math>の値は、どこも<math>x</math>の値の3倍になっているよ。表7を縦に見ると分かるよ。」</p> <p>先生「いろいろな特徴がありますね。」</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
129	1 7	削除	<p>囲みの中の、一次関数の式における変数や比例定数の図式や、比例定数と変数の関係を示した式は、本文では言葉で説明されているので、削除した。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
129	11	削除 変更	<p>例1の直方体の図を削除し、文章を次のように変更した。</p> <p>縦10cm、横20cm、高さ<math>x</math>cmの直方体の形をした水そうに水を入れる。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
133	3	削除	<p>囲みの中の座標の説明は、本文と同じ内容なので削除した。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
133	図	削除	<p>問2のグラフ用紙を削除し、例1の方眼を利用するように変更した。また、点をかき入れる問題は、「印をつけましょう」に変更した。</p>	<p>2 編集の具体的方針(3)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>③による。</p>
133	図	削除 変更	<p>かんなのセリフのあとのグラフを削除し、かんなのセリフに対応する点も、前の図7に追加した。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>3 編集の具体的内容(3)</p> <p>①による。</p>
136	図	削除	<p>問3では、グラフ用紙にグラフをかき課題となっているが、グラフをかき込んだり、印をつけたりす</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p> <p>(3)による。</p>

			る作業を教科書の紙面で行うことは難しいため、グラフ用紙を削除した。 以下、同様とする。	
136	10 ～15	変更	「調べよう」のノートを削除し、次のように文章化した。 (ノート) 比例の式と表とグラフ 1. $y = 2x$ (1) 比例定数は2 (2) $y$ は $x$ を2倍したもの (3) $x$ が1増えると、 $y$ は2増える。 (4) グラフでは、右に1、上へ2上がったところに点がとれる。 2. $y = -2x$ (1) 比例定数は-2 (2) $y$ は $x$ を-2倍したもの (3) $x$ が1増えると、 $y$ は2減る。 (4) グラフでは、右に1、下に2下がったところに点がとれる。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
138	図	変更	4のグラフは読みやすさを重視し、グラフ一つづつを別のグラフ用紙に示した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
139	図	削除	問1の図は、文章中に言葉で説明されているため、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
143	図	変更	Qのグラフ用紙は、触って目盛りを確認できるように、1目盛りを2とした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
144	図	削除	TRY1の生徒の会話の中にあるグラフは、セリフと同じ内容であるため、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
145	図	削除	問1では、グラフ用紙にグラフをかく課題となっているが、グラフをかき込んだり、印をつけたりする作業を教科書の紙面で行うことは難しいため、グラフ用紙を削除した。	
146	4	変更	Noteのグラフを削除し、次のように文章化した。 (ノート)	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

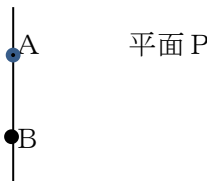


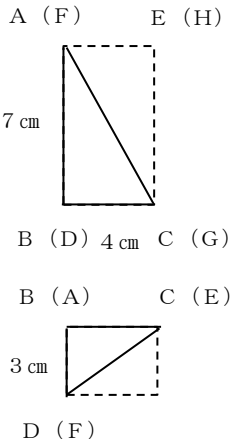
			反比例のグラフをかくときには、なめらかに点を結ぶようにし、座標軸と交わらないように気をつけてかこう。	
146	10 ～17	変更	「調べよう」のノートは削除し、文章化した。 (ノート) 反比例の式と表とグラフ  1. $y = \frac{12}{x}$  (1) 比例定数は12 (2) xとyをかけると12 (3) xを12倍すると、yになる。 (4) グラフでは双曲線が通る点とその点からx軸、y軸に垂直の交わる点を結んでできる四角形の面積はいつも12	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
148	写真	削除	TRY 1 のペットボトルのキャップの写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
149	写真	削除	問1の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
150	8	変更	TRY 2 の表 19 は1ページに収めるために、1500wの列を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
151	絵	削除	例2の絵を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
151	10	削除	解答例の右の表で示されている内容は、解答例の中で言葉で説明されているため、表を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
153	絵	削除	地震の揺れに関する絵を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
157	2 写真	追加	建物の説明として、次の文章を追加した。また、平等院鳳凰堂の写真は、正面から見た外観の輪郭を簡略化して点図にした。 建物を正面から撮った写真で、手前にある湖にもその姿が映っています。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
158	6	変更	Qの文章を、次のように変更した。 図4のように3点A、B、Cと直線①をかき、3点A、B、Cのうちから点を2つ選んで、2点を通	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。


			る直線をひいてみましょう。また、それが直線①と交わるかどうか確かめてみましょう。	
161	図	変更	TRY 1 の図について、複数の直線間にかかれた、黒塗りされた四角は、視覚的な錯覚を誘うものであり、点図化すると読取りの妨げとなることから直線のみ図に変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
161	7	変更	かんなのセリフを、次のように変更した。 かんな「CDは傾いているんじゃないかな？AとCの方がBとDよりも離れている気がするから。」	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
162	5 ~12	変更	TRY 1 について、図形の移動に焦点を絞って考えることができるように万華鏡の記述を削除し、次のように変更した。また、万華鏡の模様をあとのように変更した。  図 22 のような模様の正三角形ABCがあります。これと合同な正三角形を6枚、それぞれ1辺が共通となるように並べると、図 23 のようになります。△ABCをどのように動かすと、△DBCや△EFCの模様に重なるでしょうか。 カンガル「図 22 と合同な三角形をつくってそれを動かしてみましよう。」 	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
164	10	変更	問3について、教科書に図をかき入れることが難しいことや、矢印の含まれた図の触察が難しいことを考慮し、問題文を次のように変更した。(以下、図をかき入れる課題については、同様の変更を行った。)また、図中の矢印は線分PQのみを示した。  図 28 の△ABCを、点Pから点Qの方向に線分PQの長さだけ平行移動させた△A'B'C'について説明しましょう。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
165	図	変更	問5の図中の分度器は、読取りやすさの観点から30°ごとに目盛をつけたものに変更した。また、三角形の形については、分度器の中心Oと三角形の各頂点を結ぶ線分が三角形の内側を通らないこと、回転移動について考える際に、移動をたどる線が三角形によって寸断されないことに配慮して変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
166	図	変更	問9の図について、目盛りの間隔を読み取りやすい大きさにしつつ、方眼を1ページ内に収めるために図形を簡略化をして点図にした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。




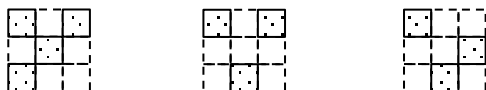
			(以下、同種の図については同様の変更を行った。)	
167	3 ~7	変更	1の問題は、視経験を基に考える内容であるため、文章を次のように変更した。 半直線ABと直線 <i>l</i> との交点をPとします。点Pの位置にするしをつけましょう。	2編集の具体的方針(3) 3編集の具体的内容(3) ③による。
168 169	絵	変更 追加	島の絵については情報が多すぎるため、そのまま点図にしても必要な情報を捉えることができない。そこで、島の輪郭と4点A、B、C、Dのみを点図とし、その他の情報は削除した。また、点Dの小島は他の陸地とつなげ、半島にした。 さらに、169ページの条件①~③を満たす直線を、島の図に加えた図をそれぞれ掲載し、一つずつの条件を図で確認できるようにした。	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
170	図 4	削除 追加	作図を説明する図を削除し、補足としてカンガルの言葉を次のように追加した。 カンガル「線分の長さを移すときには、その線分の長さにコンパスをひらけばいいね。」	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
171	1	変更	「例1で示される四角形ADBCは」を、「例1の4点A、D、B、Cを結んでできる四角形ADBCは」と変更し、段階を追って図形をイメージできるようにした。 (以下、同種の表現は、同様に変更した。)	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
171	6	変更	問1は、教科書上で作図することが難しいことから、「次の図において」を、「次の図46、47のように線分ABをかき」と変更した。(以下、同種の問題は、同様に変更した。)	2編集の具体的方針(3) 3編集の具体的内容(3) ③による。
172	図	変更	角の二等分線に関する図について、二等分線OPが水平にかかっている方が、二等分された角が同じ大きさであることを触って確認しやすいことから、角の二等分線OPが水平になるように図の角度を変更した。	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。 二等分線が原典教科書の角度でかけられることの方が多いため、段階を追って二等分線が水平ではない図に触れる機会も設けた。
173	図	変更	四角形ODECの図について、対角線OEが水平になるように図の角度を調整し、OEが∠Oを二等分していることを確認しやすいようにした。	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
176	図	変更	問5の図として、原典教科書p168で島の輪郭と4点のみ記載した図に、点Eを追加したものを掲載	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3)

			した。	①による。
178	図	変更	円の半径を示した図について、触って確認する際のわかりやすさの観点から、右側にかかっている半径を12時と3時の方向にひくことに変更した。 同様の観点から、弦ABを示した図についても、弦ABが水平な方向となるように変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
178	20	変更	点字教科書では巻末の資料を掲載していないため、Qにおけるカンガルのセリフを、次のように変更した。 カンガル「円形に紙を切って、それを使って考えてみよう。」	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
179	図	変更	円の弦の性質に関する図について、直径が対称の軸となっていることを触って確認しやすいように、直径が12時から6時の位置となるように図の角度を変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
179	8 ~10	変更	問1の文章を、次のように変更した。 古墳から円形の銅鏡の破片が見つかりました。図67をその破片とするとき、この銅鏡の直径の求め方を説明しましょう。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
183	14 ~18	変更	3の文章を、次のように変更した。 図80のような折り紙ABCDを、点Dが辺AB上の点Pに重なるように折り曲げます。図80のように四角形ABCDと点Pをかき、折り目の線を作図しましょう。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
184	図	変更	$\triangle ABC$ に対して、2つの頂点B、Cを通る円が複数かかっている図について、触って確認できるよう、円を2つに減らした。 (P185の図についても同様)	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
186	図	変更	直方体、角柱、円柱の見取図を、上から見た図と正面から見た図で表した。 以下、見取図は原則、上から見た図と正面から見た図で表した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
187	写真	削除	建物の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
188	7 ~13	変更	TRY1について、地図上の建物を点図で表せないことから、文章を次のように変更した。また、5種類の絵と見取図を、上から見た図と正面から見た図で表した。 建物にはいろいろな形をした建物があります。図4ア~オのように、それらの建物を立体におきかえ	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

			たとき、これらの立体を形の特徴に注目してグループ分けしましょう。	
189	図	変更	三角柱の見取図を削除し、底面と側面、頂点など立体の構成を確認するために、上から見た図と正面から見た図と展開図で表した。 p190 の四角錐と円錐についても、同様に変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
190	図	変更	問3の図は、上から見た図の形をそろえ、正面から見た図の特徴から立体の形を判断するようにした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
191	図	変更	正多面体の図は、1つの頂点にどのような図形が集まっているかを示し、どの頂点にも同じ数の合同な正多角形が集まっていることを意識させるようにした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
192	写真	削除	Qの写真は削除し、名称のみを示した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
193	6	変更	「右の図のように」を、次のように変更した。また、いくつもの平面を表した図を、あとの図に変更し、実際に教科書を折り曲げる活動を通して様々な平面ができることを確認できるようにした。  図12のような、平面P上の直線ABを折り目として、ページを折り曲げましょう。折り曲げたことで、2点A、Bをふくむ平面Pとは異なる、新たな平面Qをつくることができます。2点A、Bをふくむ… (以下、変更なし)  図12 	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。 図の見方を加えることで、もともとの平面Pとは異なる新たな平面をイメージしやすくした。
193	写真 13	削除 追加	3本の指で平面を支える写真を削除し、カンガルの言葉を次のように追加した。 カンガル「親指、人差し指、中指の3本の指先で支えることのできる平面は1つだけだね。」	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
193	写真	削除	カメラの三脚の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
194	写真	削除	立体交差の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

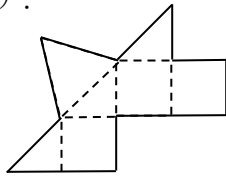
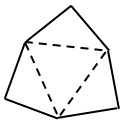
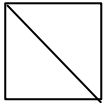
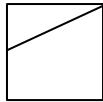
195	図	変更 削除	直線と平面の位置関係を表す図は、立方体 $ABCD-EFGH$ を上から見た図と正面から見た図で、直線 $l$ と平面 $P$ が垂直であることを表す図は、上から見た図と正面から見た図で、それぞれ表し、三角定規を用いた写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
196	図	変更 削除	2 平面の位置関係を表す図について、平面 $P$ 、 $Q$ を切った断面図とし、交線 $l$ と、2 平面 $P$ 、 $Q$ のなす角を別々の図とした。 以下、同種の図は、同様に変更した。 また、ノートパソコンの写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
197	図	削除	まとめの図を削除し、言葉のみとした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
198	11	変更	問 1 の文章を、次のように変更し、図を次のように表した。 図 25 は、 $AB = 7\text{ cm}$ 、 $BC = 4\text{ cm}$ 、 $BD = 3\text{ cm}$ の直方体 $ABCE-FDGH$ から切り取ってつくった三角錐です。次の高さを求めましょう。  (上から見た図と正面から見た図)  	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①③による。
199	2	変更	$Q$ の文章を、次のように変更した。 図 28 は、食パンやハムを何枚も積み重ねてできたものです。どんな立体といえますか。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
199	図	変更	面や線が動いて立体を作っていく様子を表した図は、上から見た図と正面から見た図で表した。また、線が動く様子を表す図には、線分 $AB$ を意識できるようにした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
200	図	変更	回転体に関する図について、長方形や直角三角形を回転させている図を削除し、回転の軸の直線 $l$ と回転させる図形のみを表した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

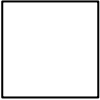

200	写真	削除	壺の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
201	10	変更	問5について、見取図をかくことはできないため、「回転体の見取図をかきましょう」を「回転体がどのような立体になるか考えましょう」に変更した。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
202	2	変更	Qの文章を、次のように変更し、それに伴いQではなく、本文の扱いとした。 次の図38は、フライパンを3つの方向から見たときの形を表しています。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
202	図	削除	見取図と投影図の関係を表す図について、投影図のみを示した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
203	1 ~ 4	変更	問6を次のように変更し、図を削除した。 次の立体の投影図がどのようにになるか、説明しましょう。 (1) 底面が1辺3cm、高さが4cmの正四角柱 (2) 底面の半径が2cm、高さが4cmの円すい	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①、2 編集の具体的方針(2) 3 編集の具体的内容(3)③による。
203	9 ~ 10	削除	見取図をかくことはできないため、「また、その立体の見取図をかきましょう。」を削除した。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3)
203	11 ~ 15	変更	問8を次のように変更し、見取図を削除した。 図41の投影図について、どんな立体か、かんなさんとまなとさんが考えたところ、次のようになりました。2人の考えについて、気づいたことをまとめましょう。 かんなの考え 直方体 まなとの考え 底面が直角三角形の三角柱を、横に倒したもの	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
204	2 ~ 8	変更	「考えよう」の文章を、次のように変更し、積み木の写真をあのような図に変更した。 同じ大きさの立方体を、縦、横の方向に3個ずつ、正方形の形に並べたものを3段積み重ねました。計27個の積み木でつくられたこの立体を、正面、右横、真上の3つの方向から見た図は、図42のようになります。  図42 (正面から見た図) 	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ① 2 編集の具体的方針(2) 3 編集の具体的内容(3) ③による。

			<p>(右横から見た図)</p>  <p>(真上から見た図)</p>  <p>次に、1段目は縦、横3個ずつ正方形の形に並び、2段目と3段目は図43のように積み上げた立体を同じように、3つの方向から見た図はどのようになるでしょうか。</p> <p>実はこれも同じように、すべて正方形になります。</p> <p>カンガル「本当に正方形になるのかな？」</p> <p>図43</p> <p>(真上から見た図)</p>  <p>また、1段目は縦、横3個ずつ正方形の形に並び、2段目と3段目は図44ア.～ウ.のように積み上げました。このうち、3つの方向から見た図がすべて正方形になるものを選びましょう。</p> <p>図42</p> <p>ア                      イ                      ウ</p> 	
206	図	削除	三角柱や円柱の図を削除し、またカンガルのセリフをイメージした図を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
206	写真	削除	容器に水を入れている写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
207	図	削除	まとめの図について、言葉で説明されているため削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
207	8 ～12 図	変更	<p>カンガルのセリフを、次のように変更し、立方体を分割している図については、分割したときにできる正四角錐の展開図に変更した。</p> <p>カンガル「図47のような展開図で6個の正四角錐をつくれれば、立方体が6個の正四角錐に分割でき</p>	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

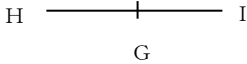
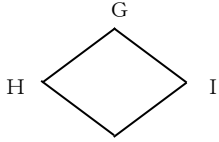
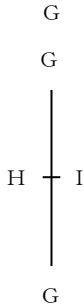


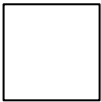
			ることがわかるよ。」	
208	図	変更	三角柱と円柱を切り開き、展開図にしていく様子を表した図について、それぞれ、上から見た図と正面から見た図および展開図を示した。 p209の正四角錐についても同様に表した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
210	写真	削除	円錐の形をしたお菓子のパッケージの写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
211	写真	削除	おうぎの写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
211	図	削除	円錐を展開していく様子を表した図を削除し、円錐の展開図のみを表した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
213	図	変更	おうぎ形の中心核と弧の長さや面積の関係を表す図について、おうぎ形の中心角などがの大きさが等しいことを確認しやすいように、水平な直径の上方に2つのおうぎ形の位置を修正した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
213	図	削除	例1のおうぎ形について、図がなくても考えられるため削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
214	図	削除	例2のおうぎ形について、図がなくても考えられるため削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
218	写真	削除	半球の容器から円柱の容器に水を移す写真について、言葉で説明されているため削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
213	図	削除	まとめの球の図を削除した。 p219のまとめについても同様に削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
219	写真	変更	半球や円柱にひもを巻いている写真について、簡略化して正面から見た図だけを示した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
220	図	変更	2の問題について、図を削除し、次のように変更した。 (1) 底面の半径が2 cm、高さが5 cmの円柱 (2) 底面の半径が3 cm、高さが4 cm、母線の長さが5 cmである円すい	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
220	図	削除	球と円錐と円柱の関係を表した図を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

221	3 ～4	変更	「つねに正しいものには○を、正しくないものには×をつけましょう」を「つねに正しいものは「正しい」と、正しくないものは「正しくない」と答えましょう」に変更した。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
221	17 ～18	変更	「回転体の見取図をかき」を「見取図について説明し」に変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
222	図	削除	3の図を削除し、問題文を次のように変更した。 底面の半径が5 cmの円錐をたおしたものを、頂点を中心にして平面上で転がしたところ、3回転してもとの位置にもどりました。(以下、変更なし)	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
223	2 ～8	変更	Qから問1の直前までを、次のように変更した。 Q 図77のような2つの展開図をつくって立体をつくってみましょう。それらを組み合わせると、どんな立体ができるでしょうか。 図77 ア.  イ.  図78の立方体A B C D-E F G Hを、点A、C、Pをふくむ平面で切ると、切り口は三角形になる。この三角形は二等辺三角形である。 立方体を平面で切ると、切り口はいろいろな図形になる。 図78(上から見た図と正面から見た図) A (E) D (H)  B (P、F) C (G) B (A) C (D)  F (E) G (H)	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
223	11 ～15	変更	問1を、次のように変更した。 図79の立方体A B C D-E F G Hについて、辺E F上に点Pをとる。このとき、次の3点を通る平面で切ったときの切り口は、どんな図形になるか答えましょう。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

			<p>(1) 点A、C、F  (2) 点A、C、E  (3) 点A、C、P</p> <p>図79 (上から見た図と正面から見た図)</p> <p>A (E) D (H)</p>  <p>B (P、F) C (G)</p> <p>B (A) C (D)</p>  <p>F (P、E) G (H)</p>	
223	16 ~22	変更	<p>問2の文章を、次のように変更し、図を削除した。</p> <p>立方体を平面で切ったときの切り口が、次のような形になりました。それぞれ、どのような平面で切ればよいか考えましょう。</p> <p>(1) 五角形  (2) 六角形</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)  3 編集の具体的内容(3)  ①による。</p>
224	図	削除	<p>小学校で習ったグラフについては、図を削除し、次のように原則言葉で示した。ただし、「データのようなすを表す表と柱状グラフ」のみ表とグラフを示した。</p> <p>ア. 棒グラフ  イ. 折れ線グラフ  ウ. 円グラフ  エ. ドットプロット  オ. データのようすを表す表と柱状グラフ</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)  3 編集の具体的内容(3)  ①による。</p>
225	表	削除	<p>第15表の内容について、本文で扱われていないため、この表を削除した。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)  3 編集の具体的内容(3)  ①による。</p>
226	写真 図	削除	<p>電車の写真とデータのイメージ図を、削除した。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)  3 編集の具体的内容(3)  ①による。</p>
231	表	削除	<p>2種類の表はいずれも、原典教科書 p230 に出てきているものと同じであるため、削除した。</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)  3 編集の具体的内容(3)  ①による。</p>
232	図	変更	<p>ヒストグラムは、柱状グラフの情報を確実に読み</p>	<p>2 編集の具体的方針(1)</p>

			取ることを目的に、隣接する柱状グラフ境界線を共有させず、二重線とした。 以下、ヒストグラムの図は、同様に変更した。	3 編集の具体的内容(3) ①による。
234	図	変更	1つの図に2種類のグラフをかくと、触ってそれぞれのグラフを認識することがかなり難しくなるため、ヒストグラムと度数折れ線の図を別々の図に分けた。また、度数折れ線の作成過程がわかるように、ヒストグラムの上の辺の中点を大点とした。 以下、同種の図については、同様に変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
238	図	削除	パソコンの図を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
242	表	変更	例1の表は、紙面の都合上、CとDをわけて2つの表とした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
242	図	変更	累積相対度数と中央値に関する図について、3本の折れ線グラフを一度に確認することは難しいため、中学校ごとに一つずつグラフをかいた。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
244	写真	削除	ペットボトルの蓋の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
247	写真	削除	靴の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
248	写真	削除	ボタンの写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
250	写真	削除	キーボードと鍵の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
252	写真	変更	常寂光寺の石碑の写真を削除し、次のように文章化した。 (京都府にある常寂光寺には、吉田光由の功績を称えて、塵劫記と刻まれた石碑が建立されています。)	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
252	図	変更	俵杉算の図について、途中の段を簡略化して点図にした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
253	写真	削除	入れ子の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

255	写真	削除	ホタルイカとサクラエビの写真を削除し、「ホタルイカをはじめとして」を「ホタルイカやサクラエビをはじめとして」に変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
256～ 257	図	変更	封筒の図について、図中の位置を明確にするため、頂点や中点、交点に適宜名前をつけ、長方形A B C Dとした上で、「封筒で立体を作る手順」の説明を次のように変更した。また、点字で学習する生徒は、手順の説明を読んだ後に図を見る方が理解しやすいため、説明を先に提示した。  封筒で立体を作る手順 (1) 封筒を長方形A B C Dとみる。ただし、封筒の口を辺ADとする。辺AD、辺BCの交点をそれぞれE、Fとし、線分E Fで折ってもどす。 (2) 点Cが線分E F上にくるように折り曲げる。このとき、線分E F上の点Cの位置を点Gとする。 (3) (2) で直線B Gにそってさらに折り曲げる。 (4) 一度広げ、(2) と(3) について、逆側も同じように折る。 (5) (1) (3) (4) でできた折り目は点Gで重なる。 点Gを通り、辺BCに平行な直線H Iで切る。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
257	図	修正	封筒の左右から押しつぶすイメージ図を、次のように切り口の様子で表した。  図8 残った封筒を左右から押したときの切り口の様子 ア.  イ.  ウ. 	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
259	写真	削除	嵐山の桜の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1)

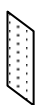
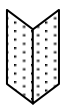
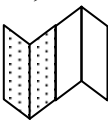
				3 編集の具体的内容(3) ①による。
260	図	変更	「きょうの降水確率」の図を、表に変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
270	図	削除	14の図について、問題文を読んでイメージできる図であること、また、チャレンジ編の問題であるため、図をイメージする力も大切であることから、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
271	図	削除	15の図について、例題2と同様の考え方であるため、例題2を参考に図をイメージする練習も大切であると見え、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
274	図	削除	11の図について、例題1と同様の考え方であるため、例題1を参考に図をイメージする練習も大切であると見え、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
275	図	削除	13の図について、例題2と同様の考え方であるため、例題2を参考に図をイメージする練習も大切であると見え、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
280	図	変更	6と8の立体について、図を削除し、次のように文章で表した。 6 (1) 半径7 cm、高さ10 cmの円柱から、半径3 cm、高さ10 cmの円柱をくりぬいた立体 (2) 半径3 cm、高さ4 cmの円柱の上に、半径3 cmの半球をくっつけた立体 8 (1) 底面の半径が4 cm、母線の長さが6 cmである立体 (2) 半径5 cmの半球	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
281	3～6	変更	例題1の問題文を、次のように変更した。 図4のような、1辺が6 cmの立方体A B C D-E F G Hを、 点A、C、Fを通る平面で切ったときの大きい方の立体の体積を求めましょう。 A (E) D (H)  B (F) C (G)	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。 切り取ってできた立体を、上から見た図や正面から見た図で表しても立体を復元することが難しいため、立方体から切り取ることにした。
281	16～20	変更	9の問題文を、次のように変更した。 図5のような、 $AB = 4$ cm、 $BC = 6$ cm、 $AE = 3$ cmの直方体A B C D-E F G Hを、点A、C、F	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。


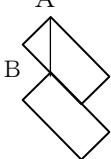
			を通る平面で切ったときの大きい方の立体の体積を求めましょう。(図は、例題1と同様)	
281	21 ~23	変更	10の問題文を、次のように変更した。 図6のような、1辺が9cmの立方体ABCD-EFGHの、点A、C、F、Hを頂点とする三角錐の体積を求めましょう。(図は、例題1と同様9)	2編集の具体的方針(3) 3編集の具体的内容(3) ③による。
284	図	削除	絶対値と数の大小に関する図について、言葉での説明で十分であるため、削除した。	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
286	図	削除	等式の性質、比例式の性質に関する図や図式について、言葉での説明で十分であるため、削除した。	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
287	図	削除	座標に関する図について、言葉での説明で十分であるため、削除した。	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
287	図	追加	比例のグラフと反比例のグラフについて、グラフを点図で示すとともに、次の文章を追加した。 比例のグラフ ア. $a > 0$ のとき xが増加すると、yも増加する。 イ. $a < 0$ のとき xが増加すると、yは減少する。 反比例のグラフ ア. $a > 0$ のとき xが増加すると、yは減少する。 イ. $a < 0$ のとき xが増加すると、yも増加する。	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
288	図	削除 変更	図は基本的に言葉での説明で十分であるため、削除した。 「図形の移動」のみ、図で表されている内容を、次の文章に変更した。 ア. 平行移動 図形を、一定の方向に一定の距離だけずらすこと。 イ. 回転移動 図形を、ある点Oを中心にして一定の角度だけ回すこと。 ウ. 対称移動 図形を、ある直線lを折り目として折り返すこと。	2編集の具体的方針(1) 3編集の具体的内容(3) ①による。
289	図	削除	図は基本的に言葉での説明で十分であるため、削	2編集の具体的方針(1)

		変更	<p>除した。</p> <p>「作図」のみ、図で表されている内容を、次の文章に変更した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 線分ABの垂直二等分線の作図 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 点Aを中心とする適当な半径の円をかく。</li> <li>(2) 点Bを中心として、(1)と同じ半径の円をかき、2つの円の交点をC、Dとする。</li> <li>(3) 直線CDをひく。</li> </ol> </li> <li>2. <math>\angle AOB</math>の二等分線の作図 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 点Oを中心とする適当な半径の円をかき、半直線OA、OBとの交点をC、Dとする。</li> <li>(2) 2点C、Dをそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つをEとする。</li> <li>(3) 半直線OEをひく。</li> </ol> </li> <li>3. 直線l上にはない点Pを通る垂線の作図 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 点Pを中心とする適当な半径の円をかき、直線lとの交点をA、Bとする。</li> <li>(2) 2点A、Bをそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つをQとする。</li> <li>(3) 直線PQをひく。</li> </ol> </li> <li>4. 直線l上にはない点Pを通る垂線の作図 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 直線l上に適当な点Aをとり、点Aを中心とする半径APの円をかく。</li> <li>(2) 直線l上に適当な点Bをとり、点Bを中心とする半径BPの円をかく。2つの円の交点のうち、Pでない点をQとする。</li> <li>(3) 直線PQをひく。</li> </ol> </li> </ol>	<p>3編集の具体的内容(3)①による。</p>
290	図	削除	<p>「円柱の展開図」「円錐の展開図」以外の図は、言葉での説明で十分であるため、削除した。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)</p> <p>3編集の具体的内容(3)①による。</p>
291	図	削除 変更	<p>図は基本的に言葉での説明で十分であるため、削除した。</p> <p>「ヒストグラム、度数折れ線」のみ、図で表されている内容を、次の文章に変更した。</p> <p>度数分布表を、柱状グラフで表したものをヒストグラムという。ヒストグラムの各長方形の上の辺の中点を結んでできる折れ線グラフを、度数折れ線という。</p>	<p>2編集の具体的方針(1)</p> <p>3編集の具体的内容(3)①による。</p>



	298	図	変更	「6空間図形」「6-1の確認問題」の3の答えを、次のように文章に変更した。 (1) 底面の半径が3cm、高さが5cmの円すいを上下逆さにしたような立体 (2) 底面の半径が6cm、高さが10cmの円すいの上部から、底面の半径が3cm、高さが5cmの円すいを切り取った立体 (3) 底面の半径が4cm、高さが6cmの円すいを上下逆さにしたものに、半径4cmの半球をくっつけた立体	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
	302	図	変更	「第6章空間図形」の4(1)の答えを、「円すい」という言葉に変更した。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
	299	図	変更	「6空間図形」「問題A」の2と3の答えを、次のように文章に変更した。 2 円柱の上に円すいをくっつけた立体 3 立面図も平面図も、ともに同じ大きさの円	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
1年探究ノート	4	図	変更	マグネットを囲んで考えているが、マグネットを囲んだ図を示すと複雑になるため、囲まずに外側に区切りを示す線を入れた。そのため、まなとやみかのセリフの「囲んだ」を「わけた」に変更した。以下、同様とした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
	8	図	削除	本冊の内容の抜粋に伴う図を、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
	12	図	削除	本冊の内容の抜粋に伴う図を、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
	14 15	図	削除	表中の見取図を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
	17	図	削除	視力検査表を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
	17	図	削除	視力2.0の指標は、実際の大きさでは触ってわからないので、削除し、文章中の「視力2.0」という言葉も削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
	18	図	削除	ランドルト環は、原典教科書p16の図と同じなので、そちらを参照することとして削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。

19	図	変更	ランドルト環の直径を実際に測ることは難しいため、直径を追加した図とした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
20	写真	削除	豊後森機関庫と機関車の写真を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
21	写真	変更	機関庫の画像を、上から見た図に変更した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
22 ~23		変更	投影図や展開図を「かこう」を「考えよう」に変更した。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
23	12	変更	先生のセリフの「その展開図を組み立ててみましょう」を「その展開図の形や大きさなどを伝え、それをもとに切り取ってもらった展開図を組み立ててみましょう」に変更した。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
24	図	削除	本冊の内容の抜粋に伴う図を、削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
30 ~31	図	変更	伝統文様は、触って理解するには複雑な図であるので、点図にする範囲を一部分とした。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
32	3	削除	課題の文章のあとに、原典教科書 p46~p48 のワークシートの観点を入れているが、「オリジナルの文様を考えてみよう」については、点字で学習する生徒が行うにはかなり難しいため、削除した。	2 編集の具体的方針(3) 3 編集の具体的内容(3) ③による。
32 ~33	図	削除	矢絣文様と桧垣文様を削除した。	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
32	5	変更	ひびきのセリフを、次のように変更した。 ひびき「矢絣文様について考えてみよう。次の図6のア. からイ. のように、1つの平行四辺形を対称移動とすると矢の形ができるね。図6のウ. で裏点でうめていない方の矢は、裏点でうめた方の矢をどのように移動しているかな。」 ア.  イ.  ウ. 	2 編集の具体的方針(1) 3 編集の具体的内容(3) ①による。
33	5	変更	まなどのセリフを、次のように変更した。	2 編集の具体的方針(1)

			<p>まなど「桧垣文様は、長方形をもとに考えればいいね。次の図8のア. からイ. のように、1つの長方形を真下に線分ABの長さの分だけ平行移動させたよ。</p> <p>ア. </p> <p>イ. </p>	<p>3 編集の具体的内容(3) ①による。</p>
--	--	--	--	--------------------------------